

表3 薬剤性肺障害

1. 薬剤性肺障害の種類

- ・好酸球性肺炎
- ・器質化肺炎
- ・間質性肺炎(非UIP型)
- ・間質性肺炎(UIP型)
- ・びまん性肺胞障害
- ・細胞性細気管支炎
- ・閉塞性細気管支炎
- ・肺胞出血
- ・肺高血圧

2. 薬剤性肺炎・肺障害を来たす膠原病治療薬

- ・非ステロイド系抗炎症薬

・免疫抑制剤: シクロフォスファミド

アザチオプリン

シクロスポリン

タクロリムス

・抗リウマチ薬: メトトレキサート

金製剤

D-ペニシラミン

ブシラミン

レフロノマイド

サラゾスルファピリジン

・生物製剤: インフリキシマブ

エターナセプト

・血管拡張剤:

PG - I2

Ca拮抗剤

ボセンタン

生物製剤による副作用は、薬剤性肺炎と
いうよりも結核、日和見感染が多い